

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：社会福祉諸費

事業名 福祉の仕事就職フェア開催費

(地域医療介護総合確保基金(介護分))

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 地域福祉課 福祉人材係 電話番号：058-272-8261 (内 2521)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,050 千円 (前年度予算額：5,050 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,050	0	0	0	0	0	3,535	0	1,515
要求額	5,050	0	0	0	0	0	3,535	0	1,515
決定額									

※地域医療介護総合確保基金を充当(基金：一財＝7：3)

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

年2回、県内の福祉事業者が一堂に集まる「福祉の仕事就職総合フェア」を開催していたが、H28年度が177人、H29年度が171人と参加者は少ない。今後2025年までに介護人材は約4,400人の不足が見込まれ、保育ニーズの多様化に伴い保育の現場でも人材の不足が続く状況の中、多くの福祉人材の確保が急務である。幅広い産業分野の法人が集まり、参加者も多い「オール岐阜・企業フェス」に福祉分野の法人を大きく組み込んで開催することで、より多くの参加者に福祉の仕事を理解してもらい、人材の確保につなげていく。

(2) 事業内容

- ・求人事業所面談
- ・福祉の仕事相談・保育士相談

(3) 県負担・補助率の考え方

事業費のうち、福祉の仕事就職総合フェアに参加する高齢分野の事業所割合

(7割)は地域医療介護総合確保基金(国2/3、県1/3)を活用

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,012	・全体企画費 ・会場借上料 ・会場設営費 ・イベント運営費 ・広報費
報償費	27	・プロポーザル評価会議構成員報償費
旅費	10	
需用費	1	
合計	5,050	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略、県第四期地域福祉支援計画

(2) 国・他県の状況

山口県が商工労働部主催の一般企業合同就職フェアと共催

(3) 後年度の財政負担

期限を定めず継続的に実施。

(4) 事業主体及びその妥当性

県の独自事業であり、県が事業主体となることは妥当である。

事業評価調査書

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
福祉の仕事へ就きたい方や関心のある方の就職活動を支援し、福祉人材の確保を促進する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
福祉の仕事就職総合フェア来場者数	人 ()	171 人 (H29)	2,764 人 (R1)	1,290 人 (R2)	3,000 人 (R3)	43.0%

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年2月1日～3月24日 オンライン開催 <ul style="list-style-type: none"> ・参加のべ318事業所 うち福祉分野39事業所 ○県内において、福祉分野の事業所が一堂に集まり、面談会や就職相談を行う機会はなく、福祉分野への就職希望者や興味のある方への就業促進に一定の役割を果たしている。県内最大級の就職活動イベントである「オール岐阜・企業フェス」に組み込んで開催することで認知度が向上し、よりたくさんの方に福祉の仕事を知ってもらうことで、福祉分野への就職希望者の増加が見込まれる。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	高齢化社会の進展等に伴い福祉人材の需要は高まっており、既存の人材の定着支援とともに、新たな人材の確保対策を図ることは重要である。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	県内において、福祉分野の事業所が一堂に集まり、面談会や就職相談を行う機会はなく、人材確保に苦慮している事業所からの期待も高い。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	福祉の仕事就職総合フェアの単独での開催では来場者数の増加が見込みづらいことから、産業人材課のオール岐阜・企業フェスに組み込んで開催とすることで、効率的に事業を実施することとした。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 福祉分野の人材は今後も需要が高まることから、安定的に確保していくことが課題であり、来場者が増えるような効果的な策を検討する必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 人材が不足している福祉分野では、定着とともに新たな人材の確保対策を図ることが重要であることから、今後も継続的に取り組みを進める。
